ハンドマイク街頭演説原稿例　自民総裁選で行き詰まりはっきり

二〇二四年九月二十八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、先日行われた自民党の総裁選挙で、石破茂さんが当選しました。１０月１日から始まる臨時国会で、総理大臣に指名される見通しです。自民党総裁と総理大臣は変わりますが、それで今の自民党の政治は変わるでしょうか。総裁選挙の報道を見る限りは、変わるとは思えません。それどころか、いよいよ自民党政治全体がゆきづまっていることがはっきりしたのではないでしょうか。

　自民党の裏金問題の真相究明は、まだまだ道なかばです。また、統一協会と自民党との組織的な癒着の問題が、この間大きく報道されました。ところが自民党総裁選挙では、石破さんをはじめとする候補者全員が、裏金事件の真相解明も、統一協会との関係についての再調査をしないと表明しました。問題を真剣に調べ、改善する意思がまったくないことが、総裁選挙からもはっきりしました。むしろ、総裁選挙でこれらの問題をごまかそうとしていると言わざるを得ないのではないでしょうか。日本共産党は、引き続き裏金問題の真相解明に力を尽くします。統一協会の問題についても、引き続き取り組んでいきます。

　さてみなさん、石破さんは自民党の中でも改憲タカ派の議員として有名な方です。石破さんはもともと、日本は戦力を持たない、他国と戦争する権利も認めないと定めた憲法９条２項を削り、自衛隊を「国防軍」にせよと主張しています。今回の総裁選挙ではこの主張は表に出しませんでしたが、他の総裁候補といっしょになって、憲法に自衛隊を書き加える憲法改定を主張しています。集団的自衛権を認め、戦争法＝安保法制が作られた今の日本で憲法に自衛隊を書き加えたら、自衛隊がアメリカといっしょになって外国と戦争する組織に変わってしまいます。日本共産党は、外国との揉め事を戦争ではなく、話し合いによって解決する外交を提案しています。日本を戦争する国に作り変えようとする政治から、平和外交を進める政治に変えるため、日本共産党へのご支援をお願いいたします。

　みなさん、安倍内閣以来の自民党・公明党政権で、日本経済は厳しい状況に追い込まれました。みなさんも実感されているのではないでしょうか。ところが石破さんは、岸田内閣の経済政策を引き継ぐ立場を表明しました。これでは私たちの暮らしは良くなりません。日本共産党は、アメリカ言いなり、大企業・財界の利益最優先の政治から、国民の生活を守り良くしていくための経済政策を提案しています。今必要なことは、看板だけ替えて今までの政治を続けることではなく、政治の中身をおおもとから変えることです。日本共産党が伸びれば、政治の中身は必ず変わります。日本共産党へのご支援、ご支持をよろしくお願いします。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）